

一般社団法人 日本医療情報学会  
2016年度(第14期)第5回理事会 議事録要旨

日 時：2017年1月20日(金) 16:30～18:30

場 所：日本医療情報学会 事務局会議室

出席者：理事20名、監事2名、部会長1名、常任幹事4名、事務局2名

## 1 審議事項

### 1. 1 第39回(2019年)医療情報学連合大会・大会長選出【審議資料1】

中川 肇氏(富山大学医学部附属病院)を大会長とすることが承認された。

### 1. 2 学術大会用新投稿システムについて【審議資料2】

アトラス社「Confit」を採択することが全員の賛成により承認された。

### 1. 3 謝金等規程の改定について【審議資料3】

担当理事から資料に基づき改定案が提案され承認された。

### 1. 4 新入会員の承認【審議資料4】

11月～12月の入会者全員の入会が承認された。12月31日時点の会員数は、正会員2,590名(3減)、準会員636名(10増)、学生会員171名、指名正会員(賛助会員)381名(3増)、名誉会員9名の合計3,787名(10増)となった。

## 2 報告事項

### 2. 1 「論文・詳細抄録の書き方(システム開発研究編)」の完成報告とその取扱いについて【報告資料1】

担当理事より資料に基づき報告があり、学会HPに掲載していくことになった。

### 2. 2 2016年度(第10回)上級医療情報技師能力検定試験(二次試験)の結果【資料掲載なし】

担当理事より、第10回上級医療情報技師能力検定試験(二次試験)が実施され、22名が合格したことが報告された。

### 2. 3 第36回医療情報学連合大会報告【報告資料3】

担当理事より、第36回連合大会は会員でない方を中心に参加者数が事前予測よりも増加したことが報告された。続いて、各賞(研究奨励賞(U35)、優秀口演賞、優秀ポスター賞、優秀Hyper Demo賞)の推薦演題について資料の通り推薦することが報告された。

担当理事より、連合大会中に開催された第 17 回日中韓医療情報学合同シンポジウムについて報告があった。

#### **2. 4 会員データベース管理の業務委託の進捗について【報告資料 4】**

担当事務局員より資料に基づき、2017 年 3 月 1 日を目途に新会員サービスを開始する予定であることが報告された。また、複数年度会費滞納者の資格喪失手続きを行う必要があることが報告された。

代表理事より、会員管理業務移行にあわせて新会員申込方法を web 上の申込に限る方針であることが説明された。

#### **2. 5 JAMI 利益相反指針・同細則の改善点についてのアンケート調査の実施について【報告資料 5】**

担当理事より、日本医学会 COI 管理ガイドラインが 3 月に改定されるのに併せ、本学会の利益相反指針等に対するアンケートを実施する予定であることが報告された。

#### **2. 6 医療機器情報の自動収集管理の検討について（中間報告）【資料掲載なし】**

担当理事より資料に基づき説明があり、医療機器情報の自動収集管理に関する事案の一例が報告された。

#### **2. 7 第 37 回医療情報学連合大会について【報告資料 7】**

担当理事より資料に基づき説明があり、本大会では公募企画を例年よりも早めに募集開始し、公募企画の採否通知後に一般演題の募集を開始すること、一般演題の締切は例年より遅くした上で延長を行わない予定であることが報告された。

#### **2. 8 医学教育モデル・コア・カリキュラムの改定案に係る意見照会について【報告資料 8】**

担当理事より資料に基づき説明があり、当学会教育委員会で取りまとめた意見を資料の通りに文部科学省へ提出したことが報告された。

#### **2. 9 その他**

- ・担当常任幹事より、日本クリニカルパス学会との合同委員会について説明があった。
- ・担当常任幹事より、糖尿病学会との合同委員会について説明があった。
- ・担当常任幹事より、日本クリニカルパス学会と JAMI が推薦した患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター（BOM）が HELICS の標準化委員会で審査が開始されたことが報告された。
- ・担当理事より、第 37 回医療情報学連合大会での共同企画について説明があった。

- ・代表理事より、医療情報匿名加工提供機関の制度化に関するパブリックコメントの募集について説明があった。

以上